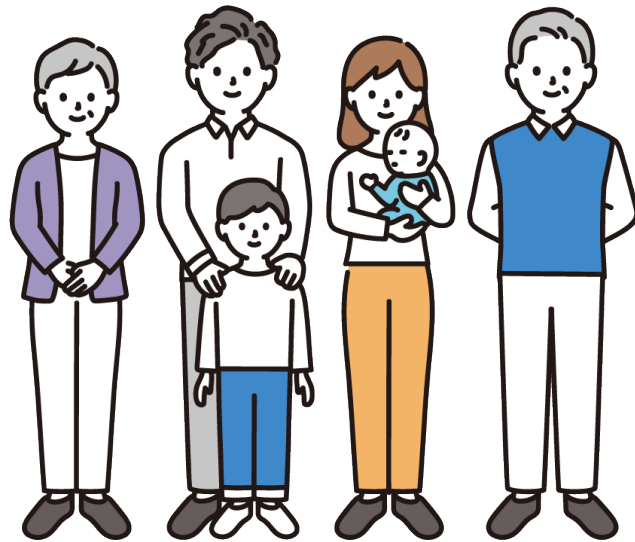


1

人口・自然



人口 ▶▶▶ 923万2千人

1-01

指標 2022年10月1日現在の神奈川の人口は923万2千人で、全国第2位です。これは、アラブ首長国連邦(UAE)の総人口(936万5千人、2021年)と同じくらいです。

首都圏の1都3県の人口は約3687万人で、全国の約29.5%を占めます。

県別の人口は、800万人以上は東京、神奈川、大阪の3県である一方、200万人未満の県は31県となっています。

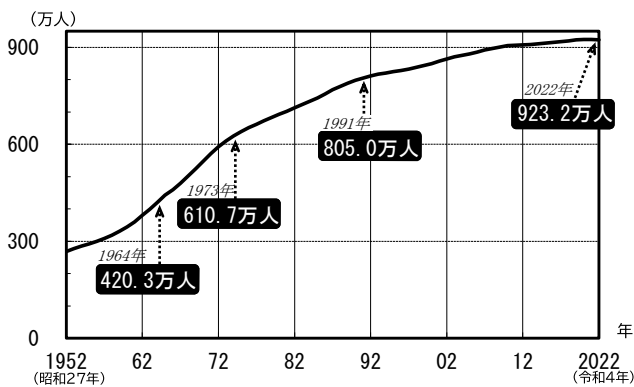
*1都3県は埼玉、千葉、東京、神奈川としています。

この統計は [人口推計][世界の統計2023]

用語 人口

人口推計は、5年毎に行われる国勢調査による人口を基礎(基準人口)として、出生・死亡(「人口動態統計」)、出入国(「出入国管理統計」)、転出入(「住民基本台帳人口移動報告」)等の人口動向から各月・各年の人口を算出するものです。日本国内に常住する外国者は、基本的に調査の対象ですが、外国政府の外交使節団・領事機関の構成員(随員を含む。)及びその家族や、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族は除外しています。

神奈川の人口の推移(1952~2022年)



神奈川の人口は、1952年には268万1千人でしたが、2022年は923万2千人と1952年の約3.5倍です。1964年に400万人、1973年に600万人、2009年に900万人を超えました。なお、戦後から人口は増加傾向でしたが、近年では、2021年に923万6千人、2022年に923万2千人と2年連続でわずかに減少しています。

この統計は [人口推計]

人口増減率 ▶▶▶ -0.04%

1-02

指標 2022年の神奈川の人口増減率は-0.04%で、全国第3位です。この1年間で人口が増加した県は、東京のみで、神奈川を含む46県で減少しています。

この統計は [人口推計]

自然増減率 ▶▶▶ -0.40%

1-03

指標 2022年の神奈川の自然増減率は-0.40%で、全国第5位です。神奈川を含めすべての県で死亡者数が出生児数を上回る自然減少となりました。

この統計は [人口推計]

社会増減率 ▶▶▶ 0.36%

1-04

指標 2022年の神奈川社会増減率は0.36%で、全国第3位です。神奈川を含め20県で、県外からの転入者が転出者を上回る社会増加となり、26県で転出者が転入者を上回る社会減少となりました。

この統計は [人口推計]

用語 人口増減率、自然増減率、社会増減率

- ・人口増減率=人口増減数/期首人口
 - ・自然増減率=(出生児数-死亡者数)/期首人口
 - ・社会増減率=(入国超過数+都道府県間転入超過数)/期首人口
- ※入国超過数=入国者数-出国者数
都道府県間転入超過数=都道府県間転入者数-都道府県間転出者数

統計情報 人口推計

人口推計(令和4年10月1日)
[総務省統計局]
刊行日:令和5年4月12日
5年ごとに実施される国勢調査の実施間の時点における各月、各年の人口の状況を把握するために行うものです。

統計情報 世界の統計

世界の統計2023[総務省統計局]
刊行日:令和5年3月
世界各国の人口、経済、社会、文化などの実情や世界における日本の位置づけを知るために参考となる様々な統計を簡潔に編集したものです。

統計情報 神奈川県人口統計調査

神奈川県人口統計調査結果報告(令和4年1月~12月の人口動向) [県統計センター]
公表日:令和5年2月24日 公表周期:毎年
5年ごとの国勢調査結果を基礎として、これに毎月の住民基本台帳法及び戸籍法の定めによる月間届出数を加減し、毎月1日現在の県内市区町村別人口及び世帯数を推計したものです。

人口

1-01

2022年
上位

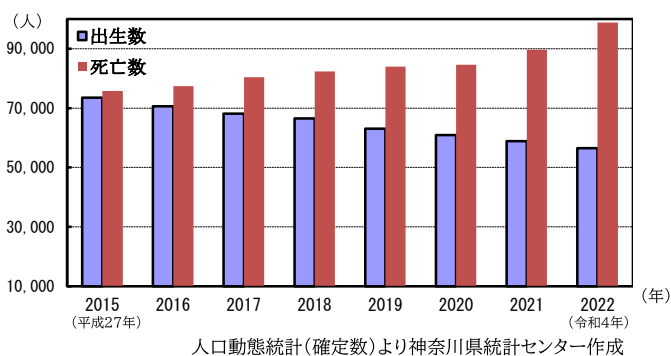
順位	都道府県	値
	全国	124,947 千人
1	東京	14,038
2	神奈川	9,232
3	大阪	8,782
4	愛知	7,495
5	埼玉	7,337
6	千葉	6,266
7	兵庫	5,402
8	北海道	5,140
9	福岡	5,116
10	静岡	3,582

下位

順位	都道府県	値
	全国	千人
38	香川	934
39	秋田	930
40	和歌山	903
41	山梨	802
42	佐賀	801
43	福井	753
44	徳島	704
45	高知	676
46	島根	658
47	鳥取	544

人口推計

神奈川の出生・死亡数の推移



人口増減率

1-02

2022年
上位

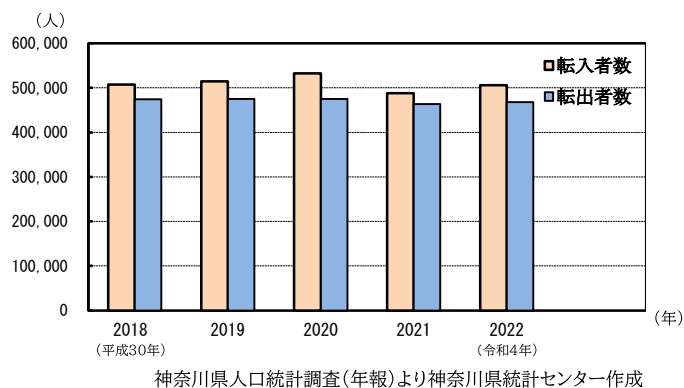
順位	都道府県	値
	全国	-0.44 %
1	東京	0.20
2	沖縄	-0.01
3	神奈川	-0.04
4	埼玉	-0.05
5	滋賀	-0.11
6	千葉	-0.15
6	福岡	-0.15
8	大阪	-0.27
9	愛知	-0.29
10	茨城	-0.43
10	山梨	-0.43

下位

順位	都道府県	値
	全国	%
38	愛媛	-1.09
39	新潟	-1.12
40	和歌山	-1.13
41	徳島	-1.14
42	福島	-1.20
43	高知	-1.22
44	山形	-1.31
45	岩手	-1.32
46	青森	-1.39
47	秋田	-1.59

人口推計

神奈川の転入・転出数の推移



自然増減率

1-03

2022年
上位

順位	都道府県	値
	全国	-0.58 %
1	沖縄	-0.05
2	東京	-0.30
3	滋賀	-0.31
4	愛知	-0.35
5	神奈川	-0.40
6	福岡	-0.46
7	埼玉	-0.47
8	千葉	-0.50
9	大阪	-0.52
10	広島	-0.56

下位

順位	都道府県	値
	全国	%
37	新潟	-0.90
37	愛媛	-0.90
39	福島	-0.92
40	徳島	-0.93
41	和歌山	-0.95
41	山口	-0.95
43	山形	-1.00
44	岩手	-1.04
45	高知	-1.08
46	青森	-1.09
47	秋田	-1.31

人口推計

社会増減率

1-04

2022年
上位

順位	都道府県	値
	全国	0.14 %
1	東京	0.50
2	埼玉	0.42
3	神奈川	0.36
4	千葉	0.35
5	福岡	0.31
6	山梨	0.29
7	茨城	0.26
7	大阪	0.26
9	滋賀	0.20
10	宮城	0.16
10	京都	0.16

下位

順位	都道府県	値
	全国	%
38	愛媛	-0.19
39	徳島	-0.21
40	新潟	-0.22
41	長崎	-0.23
42	岩手	-0.28
42	秋田	-0.28
44	福島	-0.29
45	青森	-0.30
46	山形	-0.32
46	福井	-0.32

人口推計

統計情報 人口動態統計

令和4年人口動態統計(確定数) [厚生労働省]
公表日:令和5年9月15日 公表周期:毎年
「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。この統計は、年間推計、速報、月報(概数)、月報年計(概数)、年報(確定数)の5種類があります。

注釈
1-01~1-04
1)2022年10月1日現在の値。

神奈川の出生・死亡数の推移
1)2022年10月1日現在の値。

神奈川の転入・転出者数の推移
1)各年の年中の値。

婚姻率(人口1000人当たり) ▶▶ **4.47** 1-05

指標 2022年の神奈川の人口1000人当たりの婚姻率は4.47で、全国第5位となっています。最も婚姻率が高い東京は5.59、最も低い秋田は2.64、全国平均は4.14です。

この統計は [平成24年・平成29年・令和4年人口動態統計(確定数)]

用語 婚姻率

年間の婚姻届出件数を、総務省の人口推計(各年10月1日現在)の日本人人口で割ったものです。

$\text{婚姻率} = \text{年間婚姻届出件数} / \text{日本人人口} \times 1000$

ここでいう婚姻届出件数は、各年1月1日から同年12月31日までの間に、市区町村長に届出のあった件数をいいます。

神奈川の未婚者の割合

(2020年)

年齢		男性(%)	女性(%)
20代前半	20～24歳	96.65	94.21
20代後半	25～29歳	75.82	65.33
30代前半	30～34歳	48.61	35.72
30代後半	35～39歳	34.85	23.19
40代前半	40～44歳	29.11	18.61
40代後半	45～49歳	28.08	16.99
50代前半	50～54歳	24.69	14.31
50代後半	55～59歳	20.33	11.04
60代前半	60～64歳	16.13	8.10

- * 令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。
- * 日本人・外国人の別「不詳」を含む。
- * 配偶関係「不詳」を除いて算出。

合計特殊出生率 ▶▶ **1.17** 1-06

指標 2022年の神奈川の合計特殊出生率は1.17で、全国第43位となっています。最も低い東京は1.04、最も高い沖縄は1.70、全国平均は1.26です。

この統計は [平成14年・平成24年・令和4年人口動態統計(確定数)]

用語 合計特殊出生率

合計特殊出生率は「15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当します。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいます。

$$\text{合計特殊出生率} = \frac{\text{年間の母の年齢別出生数}}{\text{10月1日現在年齢別女性人口}}$$



統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日: 令和3年11月30日～順次 公表周期: 5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

統計情報 人口動態統計

令和4年人口動態統計(確定数) [厚生労働省]
公表日: 令和5年9月15日 公表周期: 毎年
「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。この統計は、年間推計、速報、月報(概数)、月報年計(概数)、年報(確定数)の5種類があります。

婚姻率

1-05

推移
2022年の上位

(人口1000人当たり)

2022年の下位

順位	都道府県	2012 (H24)	2017 (H29)	2022 (R4)
	全国	5.31	4.87	4.14
1	東京	6.91	6.40	5.59
2	大阪	5.53	5.25	4.74
3	愛知	5.87	5.47	4.63
4	沖縄	6.31	5.66	4.53
5	神奈川	5.76	5.15	4.47
6	福岡	5.55	5.13	4.34
7	滋賀	5.29	4.74	4.11
8	千葉	5.25	4.67	4.07
9	埼玉	5.16	4.70	4.04
9	岡山	4.99	4.68	4.04

順位	都道府県	2012 (H24)	2017 (H29)	2022 (R4)
38	福島	4.75	4.32	3.43
39	徳島	4.37	4.04	3.40
40	島根	4.44	3.93	3.34
41	奈良	4.51	4.10	3.26
41	高知	4.35	4.04	3.26
43	新潟	4.37	3.96	3.19
44	山形	4.26	3.94	3.08
45	青森	4.34	4.02	3.05
46	岩手	4.33	3.82	2.99
47	秋田	3.79	3.34	2.64

平成24年・平成29年・令和4年人口動態統計(確定数)

合計特殊出生率

1-06

推移
2022年の上位

2022年の下位

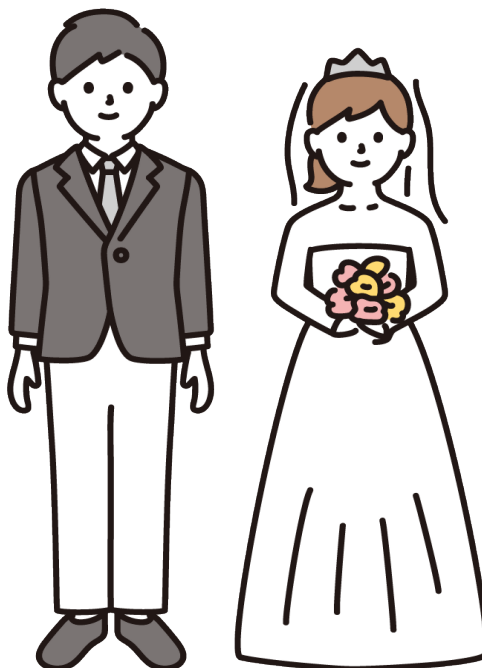
順位	都道府県	2002 (H14)	2012 (H24)	2022 (R4)
	全国	1.32	1.41	1.26
1	沖縄	1.76	1.90	1.70
2	宮崎	1.56	1.67	1.63
3	鳥取	1.51	1.57	1.60
4	島根	1.52	1.68	1.57
4	長崎	1.48	1.63	1.57
6	鹿児島	1.52	1.64	1.54
7	佐賀	1.56	1.61	1.53
8	熊本	1.50	1.62	1.52
9	福井	1.51	1.60	1.50
10	大分	1.42	1.53	1.49

順位	都道府県	2002 (H14)	2012 (H24)	2022 (R4)
38	大阪	1.22	1.31	1.22
39	岩手	1.50	1.44	1.21
40	秋田	1.37	1.37	1.18
40	千葉	1.24	1.31	1.18
40	京都	1.17	1.23	1.18
43	埼玉	1.23	1.29	1.17
43	神奈川	1.22	1.30	1.17
45	北海道	1.22	1.26	1.12
46	宮城	1.31	1.30	1.09
47	東京	1.02	1.09	1.04

平成14年・平成24年・令和4年人口動態統計(確定数)

注釈
1-05

1)小数点以下第2位は、県統計センター算出。



人口性比 ▶▶ 98.4

1-07

指標 2022年10月1日現在の神奈川の人口性比は98.4で、全国第5位です。全国の人口性比は94.7で、すべての県で女性人口が男性人口を上回っています。

この統計は [人口推計]

用語 人口性比

人口性比とは女性100人に対する男性の数をいいます。

$$\text{人口性比} = \frac{\text{男性人口}}{\text{女性人口}} \times 100$$

昼夜間人口比率 ▶▶ 91.68

1-08

指標 2020年10月1日現在の神奈川の昼夜間人口比率は91.68で、全国第44位です。神奈川の昼間人口は846万8946人で、夜間人口(常住人口)は923万7337人です。首都圏の1都3県では、東京が116.14と最も高く、他の3県はいずれも100を大きく下回っています。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 昼夜間人口比率

夜間人口100人当たりの昼間人口の比率をいいます。

$$\text{昼夜間人口比率} = \frac{\text{昼間人口}}{\text{夜間人口}} \times 100$$

県外通勤・通学者数 ▶▶ 108万5928人

1-09

全国第1位

他県からの通勤・通学者数 ▶▶ 31万7537人

1-10

指標 2020年10月1日現在の神奈川県民のうち、通勤者と通学者は合計で516万684人となっています。このうち108万5928人が県外へ通勤・通学しており、その数は全国第1位です。また、そのうちの103万5027人が東京へ通勤・通学しています。一方、他県から神奈川への通勤・通学者は31万7537人で、全国第3位です。

この統計は [令和2年国勢調査]

用語 通勤者・通学者

「通勤者」とは、従業の場所が常住の場所(自宅)と異なる就業者をいいます。「通学者」とは非労働力人口のうち、調査週間中、学校に通っていた者をいいます。この場合の学校には、幼稚園や認定こども園は含まれません。

統計情報 人口推計

人口推計(令和4年10月1日現在) [総務省統計局]
公表日: 令和5年4月12日 公表周期: 毎年
5年ごとに実施される国勢調査の実施間の時点においての各月、各年の人口の状況を把握するために行うものです。

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日: 令和3年11月30日~順次
公表周期: 5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象しています。

在留外国人数 ▶▶ 24万5790人

1-11

指標 2022年12月末現在の神奈川の在留外国人数は24万5790人で、全国第4位です。2017年と比べて41,303人、2012年と比べて83,648人増加しています。全国の在留外国人数は307万5213人となり最も多いのは東京で、全国の19.4%を占めます。

神奈川の在留外国人を国籍・地域別にみると、中国が最も多く、次いでベトナム、韓国、フィリピン、ブラジルの順となっています。

この統計は [平成24年・平成29年・令和4年在留外国人統計]

用語 在留外国人統計(旧登録外国人統計)

平成24年7月の制度改正により、外国人登録制度は廃止され、新たな在留管理制度が導入されました。この制度改正により対象範囲が変わったため、在留外国人数と従来の外国人登録者数とを単純に比較することはできません。

神奈川の在留外国人の国籍・地域

(2022年12月末)		(人)
アジア		207,314
	中国	72,158
	ベトナム	30,049
	韓国	27,232
	その他	77,875
南米		17,847
ヨーロッパ		8,918
北米		8,183
アフリカ		2,385
オセアニア		1,072
無国籍		71
合計		245,790

神奈川の在留外国人の国籍は中国が最も多く、72,158人となっており、次にベトナムが30,049人、韓国が27,232人となっています。なお、地域ごとにみると、アジアが最も多く、南米、ヨーロッパの順となっています。

人口性比

1-07

2022年
上位

順位	都道府県	値
	全国	94.7
1	茨城	99.7
2	栃木	99.6
3	愛知	99.3
4	埼玉	98.6
5	神奈川	98.4
6	千葉	98.2
7	群馬	98.0
8	福島	97.6
9	滋賀	97.4
10	静岡	97.3

下位

順位	都道府県	値
38	福岡	90.0
39	高知	89.7
40	秋田	89.5
40	宮崎	89.5
40	鹿児島	89.5
43	北海道	89.4
44	青森	89.2
44	和歌山	89.2
46	奈良	88.9
46	長崎	88.9

人口推計

昼夜間人口比率

1-08

2020年
上位

順位	都道府県	値
	全国	100.00
1	東京	116.14
2	大阪	103.90
3	京都	101.72
4	愛知	101.16
5	佐賀	100.36
6	石川	100.17
7	広島	100.17
8	福井	100.15
9	香川	100.10
10	島根	100.09

下位

順位	都道府県	値
38	三重	98.59
39	和歌山	98.47
40	茨城	97.78
41	滋賀	96.86
42	岐阜	96.62
43	兵庫	96.06
44	神奈川	91.68
45	奈良	91.09
46	千葉	90.26
47	埼玉	89.61

令和2年国勢調査

県外通勤・通学者数

1-09

2020年
上位

順位	都道府県	値
	全国	5,455,865人
1	神奈川	1,085,928
2	埼玉	1,020,437
3	千葉	797,943
4	東京	494,814
5	兵庫	348,388
6	大阪	257,988
7	奈良	171,912
8	茨城	149,582
9	京都	145,431
10	岐阜	117,904

下位

順位	都道府県	値
38	宮崎	8,276
39	青森	7,183
40	愛媛	6,989
41	徳島	6,893
42	新潟	6,839
43	福井	6,714
44	北海道	5,328
45	秋田	4,498
46	高知	3,016
47	沖縄	1,579

令和2年国勢調査

他県からの通勤・通学者数

1-10

2020年
上位

順位	都道府県	値
	全国	5,455,865人
1	東京	2,762,499
2	大阪	602,404
3	神奈川	317,537
4	埼玉	257,250
5	京都	189,699
6	千葉	185,646
7	愛知	175,976
8	兵庫	133,022
9	茨城	85,907
10	福岡	70,333

下位

順位	都道府県	値
38	富山	7,756
39	宮崎	7,493
40	青森	5,952
41	新潟	5,834
42	山形	5,503
43	徳島	4,076
44	北海道	3,756
45	秋田	2,827
46	高知	2,286
47	沖縄	1,360

令和2年国勢調査

在留外国人数

1-11

推移

2022年の上位

順位	都道府県	2012 (H24)	2017 (H29)	2022 (R4)
	全国	2,033,656	2,561,848	3,075,213人
1	東京	393,585	537,502	596,148
2	愛知	195,970	242,978	286,604
3	大阪	203,288	228,474	272,449
4	神奈川	162,142	204,487	245,790
5	埼玉	117,845	167,245	212,624
6	千葉	105,523	146,318	182,189
7	兵庫	97,164	105,613	123,125
8	静岡	77,353	85,998	106,345
9	福岡	53,356	72,039	89,518
10	茨城	50,562	63,491	81,478

2022年の下位

順位	都道府県	2012 (H24)	2017 (H29)	2022 (R4)
38	岩手	5,372	6,627	8,374
39	宮崎	4,125	5,783	8,309
40	山形	6,214	6,723	8,162
41	和歌山	5,791	6,407	8,006
42	佐賀	4,360	5,755	7,919
43	徳島	4,981	5,639	7,009
44	青森	3,930	5,121	6,702
45	高知	3,380	4,332	5,341
46	鳥取	3,947	4,385	5,020
47	秋田	3,702	3,793	4,589

平成24年・平成29年・令和4年在留外国人統計

統計情報

在留外国人統計

在留外国人統計[法務省入国管理局]

公表日:令和5年7月7日

公表周期:半年ごと

在留外国人数を都道府県別や国籍別、在留資格別などで集計しています。

注釈

1-07

1)2022年10月1日現在の値。

1-08

1)小数点以下第2位は、県統計センター算出。

2)表中、同値の県については、小数点第3位以下で順位付けをしている。

1-08~1-10

1)2020年10月1日現在の値。

2)夜間人口=調査時に当該地域に常住している人口

3)昼間人口=当該地域の夜間人口から、他の地域へ通勤・通学している者を減じ、他の地域から通勤・通学に来ている者を加えた人口

1-11

1)2012年、2017年、2022年12月末現在の値。

2)全国総数には、県が「未定・不詳」のものを含む。

1 人口・自然

生産年齢人口割合 ▶▶ 62.2% 1-12

指標 2022年の神奈川の生産年齢人口の割合は62.2%で、全国第2位です。

全国では58.8%で、最も高い東京は62.2%、最も低い秋田は51.9%です。

この統計は [人口推計]

用語 生産年齢人口

国内の生産活動を中心になって支える15～64歳の人口のこと。

年少人口割合 ▶▶ 11.5% 1-13

指標 2022年の神奈川の年少人口の割合は11.5%で、全国第25位です。

全国では11.7%で、神奈川と同程度、最も高い沖縄は16.5%で、最も低い秋田は9.3%です。

この統計は [人口推計]

用語 年少人口

14歳以下の人口のこと。

老年人口割合 ▶▶ 26.3% 1-14

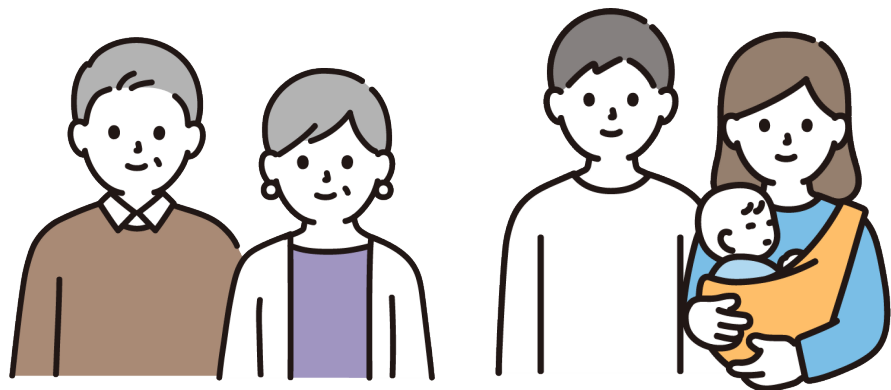
指標 2022年の神奈川の老年人口の割合は26.3%で、全国第44位です。

全国では29.5%で、最も高い秋田は38.8%、最も低い東京は23.6%です。

この統計は [人口推計]

用語 老年人口

65歳以上の人口のこと。



100歳以上人口数(人口10万人当たり) ▶▶ 50人 1-15

指標 2020年10月1日現在の神奈川の人口10万人当たりの100歳以上の人口は50人で、全国第42位です。

全国平均は65人で、最も多い島根は130人、最も少ない埼玉、愛知は43人です。

この統計は [令和2年国勢調査]

高齢化にかかった年数 ▶▶ 29年 1-16

指標 神奈川の高齢化にかかった年数(高齢化率7%から21%までにかかった年数)は29年で、全国第40位です。

全国平均は37年で、最も遅い滋賀は57年、最も早い秋田、山形、埼玉は27年です。

この統計は [国勢調査][人口推計]

用語 高齢化率、高齢者人口

高齢化率=高齢者人口÷(総人口-年齢不詳人口)×100
高齢者人口は、65歳以上の人口を指します。

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日:令和3年11月30日～順次 公表周期:5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象としています。

統計情報 人口推計

人口推計(2022年10月1日現在) [総務省統計局]
公表日:令和5年4月12日 公表周期:毎年
5年ごとに実施される国勢調査の実施間の時点においての各月、各年の人口の状況を把握するために行うものです。

生産年齢人口割合

1-12

2022年
上位

順位	都道府県	値
	全国	58.8
1	東京	65.3
2	神奈川	62.2
3	愛知	61.0
4	埼玉	60.4
4	大阪	60.4
6	千葉	59.9
7	沖縄	59.8
8	宮城	59.5
9	滋賀	59.3
10	京都	58.8

下位

順位	都道府県	値
	全国	58.8
38	山形	54.1
39	徳島	53.9
40	大分	53.7
41	長崎	53.5
42	宮崎	53.4
43	山口	53.3
43	鹿児島	53.3
45	高知	53.0
46	島根	52.7
47	秋田	51.9

人口推計

年少人口割合

1-13

2022年
上位

順位	都道府県	値
	全国	11.7
1	沖縄	16.5
2	滋賀	13.3
2	佐賀	13.3
4	熊本	13.1
5	宮崎	13.0
5	鹿児島	13.0
7	福岡	12.9
8	愛知	12.7
9	広島	12.4
9	長崎	12.4

下位

順位	都道府県	値
25	神奈川	11.5
38	山形	11.0
38	福島	11.0
38	新潟	11.0
38	富山	11.0
42	徳島	10.8
43	高知	10.7
44	岩手	10.6
45	北海道	10.4
46	青森	10.2
47	秋田	9.3

人口推計

老年人口割合

1-14

2022年
上位

順位	都道府県	値
	全国	29.5
1	秋田	38.8
2	高知	36.3
3	山口	35.4
4	徳島	35.3
5	島根	35.2
6	山形	35.0
7	青森	34.9
8	岩手	34.8
9	大分	34.3
10	和歌山	34.2
10	愛媛	34.2

下位

順位	都道府県	値
	全国	29.5
38	宮城	29.2
39	福岡	28.7
40	千葉	28.6
41	大阪	28.1
42	埼玉	28.0
43	滋賀	27.3
44	神奈川	26.3
44	愛知	26.3
46	沖縄	23.7
47	東京	23.6

人口推計

100歳以上人口数

1-15

2020年
上位

順位	都道府県	値
	全国	65
1	島根	130
2	高知	122
3	鳥取	114
4	鹿児島	108
5	熊本	100
6	山口	99
6	宮崎	99
8	長野	97
9	愛媛	96
10	新潟	95
10	香川	95

下位

順位	都道府県	値
38	宮城	59
39	青森	58
39	茨城	58
41	栃木	57
42	神奈川	50
43	東京	49
44	大阪	48
45	千葉	47
46	埼玉	43
46	愛知	43

令和2年国勢調査

高齢化にかかった年数

1-16

推移

順位	都道府県	高齢化率が初めて7%に達した年	高齢化率が初めて21%に達した年	7%→21%にかかった年数
	全国	1970	2007	37
1	滋賀	1955	2012	57
2	岡山	1955	2002	47
3	三重	1960	2005	45
3	広島	1960	2005	45
3	沖縄	1972	2017	45
6	鳥取	1955	1999	44
6	島根	1950	1994	44
6	徳島	1955	1999	44
9	茨城	1965	2008	43
10	京都	1965	2007	42
10	奈良	1965	2007	42

下位

順位	都道府県	高齢化率が初めて7%に達した年	高齢化率が初めて21%に達した年	7%→21%にかかった年数
38	岩手	1970	2000	30
38	新潟	1970	2000	30
40	北海道	1976	2005	29
40	青森	1974	2003	29
40	千葉	1980	2009	29
40	神奈川	1983	2012	29
44	大阪	1980	2008	28
45	秋田	1970	1997	27
45	山形	1970	1997	27
45	埼玉	1985	2012	27

国勢調査・人口推計

注釈

1-12~1-14

1) いずれも2022年10月1日現在の値。

1-15

1) 2020年10月1日現在の値。

2) 令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。

1-16

1) この指標は次の論文を参考に県統計センターで作成した。

加藤 巖(2019)『人口が高齢化するスピードを測る指標の改善：「倍加年数」から「三倍加年数」へ』
和光大学社会経済研究所『和光経済』第52巻第1号 p.11-22。

2) 高齢化率が初めて7%に達した年の判定は1950年の国勢調査から行っている。

1-17
1世帯当たり人員(対一般世帯) ▶▶▶ 2.15人

指標 2020年10月1日現在の神奈川の1世帯当たり人員は2.15人で、全国第40位です。2015年と比べて0.11人、2010年と比べて0.18人減少しています。

この統計は [令和2年国勢調査]
[統計でみる都道府県のすがた2023]

用語 世帯、一般世帯、1世帯当たり人員

本ページは国勢調査の区分によります。詳細は右ページ注釈を参照してください。国勢調査では世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分しています。このページで掲載する内容は、一般世帯の内訳項目です。

$$\begin{aligned} & \text{1世帯当たり人員(一般世帯の平均人員)} \\ & = \text{一般世帯人員} / \text{一般世帯数} \end{aligned}$$

1-18
単独世帯割合(対一般世帯) ▶▶▶ 39.21%

指標 2020年10月1日現在の神奈川の単独世帯割合は39.21%で、全国第6位です。2015年と比べて3.71ポイント、2010年と比べて5.42ポイント増加しました。

この統計は [令和2年国勢調査]
[統計でみる都道府県のすがた2023]

用語 単独世帯

単独世帯とは、世帯人員が1人の世帯のことです。
単独世帯割合 = 単独世帯数 / 一般世帯数 * 100

*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

令和2年国勢調査結果 神奈川の世帯数

世帯数総数	世帯人員別の世帯数(一般世帯)					
	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	
4,223,706	1,650,991	1,160,163	712,864	523,800	129,196	
一般世帯	4,210,122					
世帯人員数	9,059,878	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯	10人以上世帯
施設等の世帯	13,584	25,424	5,858	1,386	322	118

1-19
核家族世帯割合(単独世帯を除く対一般世帯) ▶▶▶ 91.84%

指標 2020年10月1日現在の単独世帯を除いた神奈川の核家族世帯割合は91.84%で、全国第2位です。全国平均より8.53ポイント高くなっています。

この統計は [平成22年・平成27年・令和2年国勢調査]

用語 核家族世帯、核家族世帯割合

核家族世帯とは一般世帯のうち次のものを示します。

- (1)夫婦のみの世帯
- (2)夫婦と子供から成る世帯
- (3)男親と子供から成る世帯
- (4)女親と子供から成る世帯

$$\text{核家族世帯割合} = \text{核家族世帯数} / \text{一般世帯数} * 100$$

*この一般世帯数には、世帯の家族類型「不詳」を含みます。

高齢者に関する割合の比較

	65歳以上人口が人口総数に占める割合(A)		団塊の世代の人口が65歳以上人口に占める割合(B)	
	%	順位	%	順位
石川	29.46	32	18.54	1
京都	28.49	36	18.00	2
富山	32.18	15	17.97	3
神奈川	24.99	44	17.06	16
岩手	33.40	6	15.04	45
沖縄	22.13	46	15.04	46
山形	33.67	5	14.94	47

神奈川では、65歳以上人口が神奈川の人口総数に占める割合は24.99%、また団塊の世代の人口が神奈川の65歳以上人口に占める割合は17.06%です。

*いわゆる「団塊の世代」とは、昭和22年(1947年)～昭和24年(1949年)に生まれた男女を指します。この表では、令和2年(2020年)国勢調査時点で71歳～73歳の男女を「団塊の世代」としました。

統計情報 国勢調査

令和2年国勢調査 [総務省統計局]
公表日:令和3年11月30日～順次 公表周期:5年ごと
日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行う国の最も重要な統計調査で、日本国内に住んでいるすべての人及び世帯を対象にしています。

統計情報 統計でみる都道府県のすがた

統計でみる都道府県のすがた2023[総務省統計局]
公表日:令和5年2月刊行 公表周期:毎年
「社会生活統計指標-都道府県の指標-」の中から、主な指標値を選定し、各都道府県の指標が一覧できるように再編成したものです。429指標を掲載しています。

1 世帯当たり人員

1-17

推移
2020年の上位

(対一般世帯)

順位	都道府県	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
	全 国	2.42	2.33	2.21
1	山 形	2.94	2.78	2.61
2	福 井	2.86	2.75	2.57
3	佐 賀	2.80	2.67	2.51
4	富 山	2.79	2.66	2.50
5	岐 阜	2.78	2.65	2.49
6	新 潟	2.77	2.65	2.48
7	鳥 取	2.71	2.57	2.44
8	滋 賀	2.69	2.59	2.44
9	福 島	2.76	2.56	2.42
10	秋 田	2.71	2.55	2.41

2020年の下位

順位	都道府県	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
38	山 口	2.36	2.27	2.17
39	愛 媛	2.37	2.28	2.16
40	神奈川	2.33	2.26	2.15
41	福 岡	2.35	2.26	2.15
42	京 都	2.31	2.22	2.12
43	高 知	2.30	2.20	2.11
44	鹿 児 島	2.27	2.20	2.11
45	大 阪	2.28	2.22	2.10
46	北 海 道	2.21	2.13	2.04
47	東 京	2.03	1.99	1.92

平成22年・平成27年・令和2年国勢調査

単独世帯割合

1-18

推移
2020年の上位

(対一般世帯)

順位	都道府県	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
	全 国	32.38	34.53	37.97
1	東 京	45.79	47.30	50.24
2	大 阪	35.78	37.53	41.85
3	京 都	35.76	38.21	41.20
4	福 岡	34.95	37.37	40.67
5	北 海 道	34.85	37.29	40.49
6	神奈川	33.79	35.50	39.21
7	高 知	33.75	36.43	39.09
8	鹿 児 島	33.43	35.66	38.94
9	愛 媛	30.96	33.58	37.47
10	沖 縄	29.39	32.36	37.44

2020年の下位

順位	都道府県	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
38	静 岡	26.76	28.53	31.88
39	長 野	25.71	27.86	31.03
40	新 潟	25.66	27.60	30.85
41	秋 田	24.57	27.92	30.55
42	佐 賀	24.74	26.87	30.30
43	福 井	24.50	26.39	29.68
44	富 山	24.17	26.15	29.66
45	岐 阜	23.61	25.80	29.36
46	奈 良	23.70	25.70	29.27
47	山 形	23.17	25.49	28.43

平成22年・平成27年・令和2年国勢調査

核家族世帯割合

1-19

推移
2020年の上位

(単独世帯を除く対一般世帯)

順位	都道府県	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
	全 国	83.31	85.22	87.14
1	東 京	89.00	90.77	91.89
2	神奈川	89.48	90.53	91.84
3	鹿 児 島	90.33	91.00	91.70
4	大 阪	88.99	89.78	91.38
5	北 海 道	88.23	89.19	90.14
6	広 島	86.04	87.79	89.41
7	兵 庫	86.67	88.06	89.26
8	千 葉	85.40	87.20	89.14
9	京 都	85.93	87.58	88.98
10	宮 崎	85.62	87.36	88.88

2020年の下位

順位	都道府県	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
38	青 森	74.09	76.23	78.88
39	鳥 取	71.37	75.32	78.07
40	島 根	71.12	74.26	78.04
41	富 山	71.12	74.39	77.65
42	福 島	71.18	74.09	77.63
43	新 潟	70.21	73.15	77.07
44	岩 手	70.46	73.65	76.94
45	秋 田	69.05	72.07	76.28
46	福 井	68.98	71.59	76.07
47	山 形	62.85	66.90	71.25

平成22年・平成27年・令和2年国勢調査

注釈

1-17

1)表中、同値の県については、小数点第3位以下で順位付けをしている。

1-17～1-19

1)いずれも2020年10月1日現在の値。

国勢調査における世帯の種類は次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分される。一般世帯

ア) 住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。

ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めている。

イ) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りる単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。

ウ) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者。

施設等の世帯

(1)寮・寄宿舎の学生・生徒(学校の寮・寄宿舎で起居を共にし、通学している学生・生徒の集まり)

(2)病院・療養所の入院者(病院・療養所などに、すでに3か月以上入院している入院患者の集まり)

(3)社会施設の入所者(老人ホーム、児童保護施設などの入所者の集まり)

(4)自衛隊営舎内居住者(自衛隊の営舎内又は艦船内の居住者の集まり)

(5)矯正施設の入所者(刑務所及び拘留所の被収容者並びに少年院及び婦人補導院の入院者の集まり)

(6)その他(定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など)

なお、世帯の単位は、原則として上記(1)～(3)は棟ごと、(4)は中隊又は艦船ごと、(5)は建物ごと、(6)は一人一人である。

1-18、1-19

1)平成22年・平成27年・令和2年国勢調査をもとに、県統計センター算出。

面積 ▶▶▶ 2416.11km ²	1-20
可住地面積割合 ▶▶▶ 61.0%	1-21

指標 2021年の神奈川の面積は2416.11km²です。全国総面積の0.64%を占めており、全国第43位と5番目に狭い面積です。神奈川は、ルクセンブルク大公国の総面積(2586km²、2021年)と同じくらいの面積です。

なお、1920年(大正9年)の神奈川の本面積は2351.63km²で、臨海地域の埋め立てなどにより101年間で約64.5km²増加しました。

2021年の神奈川の可住地面積割合は61.0%で、全国第6位です。

この統計は [令和3年全国都道府県市区町村別面積調][令和2年国勢調査][世界の統計2023][統計でみる都道府県のすがた2023]

用語 可住地面積

面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの
可住地面積割合=可住地面積/各都道府県の本面積

森林面積割合 ▶▶▶ 38.7%	1-22
自然公園面積割合 ▶▶▶ 22.8%	1-23

指標 2019年の神奈川の森林面積割合は38.7%で、全国第42位です。

2021年の神奈川の自然公園面積は、551.38km²です。自然公園面積割合は22.8%で、全国第11位です。

この統計は [統計でみる都道府県のすがた2023]

用語 森林面積、自然公園面積

森林面積:木材が集団的に生育している土地及びその土地の上にある立木竹並びに木竹の集団的な生育に供される土地の面積

自然公園面積:自然風景地の保護とともに自然とのふれあいを図ることを目的として指定される地域の合計

森林面積割合=森林面積/各都道府県の本面積

自然公園面積割合=自然公園面積/各都道府県の本面積

年平均気温 ▶▶▶ 17.0℃	1-24
年間降水量 ▶▶▶ 2056.5mm	1-25

指標 2021年の神奈川の年平均気温は17.0℃で、全国第19位です。また、2021年の年間降水量は2056.5mmで、全国第16位です。

神奈川は、関東平野の南西部に位置し、東京湾と相模湾に面し、丹沢・大山、箱根連山を擁しており、温暖で快晴の日が多かつ比較的雨量の多い気候です。

この統計は [統計でみる都道府県のすがた2023]

用語 気象用語

年平均気温:℃単位で小数第1位まで観測し、1日24回の観測値から日平均気温を求め、それから算出した年平均気温。

最高気温、最低気温:毎日の連続的観測記録のうち、1日の最高(最低)気温から、月平均の日最高(最低)気温を求め、それらの月平均気温のうち、年間を通じて最高(最低)の月平均気温。

年間日照時間:回転式日照計による値であり、直射日光が地表を照射した時間の年間の合計。

年間降水量:転倒ます型雨量計による観測値で年間の総降水量をmm単位で示したもの。

年間快晴日数:日平均雲量(10分比)が、1.5未満の日を快晴の日とし、その年間の日数。

年間降水日数:日降水量が1mm以上あった日の年間の日数。

年間雪日数:雪、しゅう雪、吹雪、みぞれ、霧雪及び細氷のうち一つ以上の現象が観測された日の年間(前年の8月から当年の7月まで)の日数で、雪あられ、氷あられ、凍雨、ひょうは含まない。

※数値は県庁所在市のデータである。ただし東京都は千代田区、埼玉は熊谷市、滋賀は彦根市における気象台の観測値である。

統計情報 世界の統計

世界の統計2023
[総務省統計局]
刊行日:令和5年3月
世界各国の人口、経済、社会、文化などの実情や世界における日本の位置づけを知るために参考となる様々な統計を簡潔に編集したものです。

統計情報 全国都道府県市区町村別面積調

令和3年全国都道府県市区町村別面積調
[国土交通省国土地理院]
公表日:令和3年12月21日 公表周期:毎年
測量法(昭和24年法律第188号)第12条の基本測量に関する長期計画に基づき、令和3年10月1日現在の日本の面積を取りまとめた技術資料です。

統計情報 統計でみる都道府県のすがた

統計でみる都道府県のすがた2023
[総務省統計局]
公表日:令和5年2月刊行 公表周期:毎年
「社会生活統計指標-都道府県の指標-」の中から、主な指標値を選定し、各都道府県の指標が一覧できるように再編集したものです。429指標を掲載しています。

面積

1-20

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全国	377,974.63
1	北海道	83,424.41
2	岩手	15,275.01
3	福島	13,784.14
4	長野	13,561.56
5	新潟	12,583.95
6	秋田	11,637.52
7	岐阜	10,621.29
8	青森	9,645.62
9	山形	9,323.13
10	鹿児島	9,186.42

下位

順位	都道府県	値
	全国	377,974.63
38	滋賀	4,017.38
39	埼玉	3,797.75
40	奈良	3,690.94
41	鳥取	3,507.14
42	佐賀	2,440.67
43	神奈川	2,416.11
44	沖縄	2,282.15
45	東京	2,194.05
46	大阪	1,905.34
47	香川	1,876.92

令和3年全国都道府県市区町村別面積調

可住地面積割合

1-21

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全国	33.0%
1	大阪	70.0%
2	埼玉	68.5%
3	千葉	68.5%
4	東京	64.8%
5	茨城	63.8%
6	神奈川	61.0%
7	愛知	57.9%
8	福岡	55.4%
9	佐賀	54.7%
10	香川	53.5%

下位

順位	都道府県	値
	全国	33.0%
38	岩手	24.6%
39	徳島	24.5%
40	宮崎	24.3%
41	長野	24.0%
42	和歌山	23.8%
43	奈良	23.1%
44	山梨	21.3%
45	岐阜	20.8%
46	島根	18.9%
47	高知	16.3%

統計でみる都道府県のすがた2023

森林面積割合

1-22

2019年
上位

順位	都道府県	値
	全国	65.5%
1	高知	83.3%
2	岐阜	79.0%
3	島根	78.0%
4	山梨	77.8%
5	奈良	76.9%
6	和歌山	76.2%
7	宮崎	75.5%
8	徳島	75.4%
9	長野	75.3%
10	岩手	74.6%

下位

順位	都道府県	値
	全国	65.5%
38	香川	46.4%
39	佐賀	45.3%
40	福岡	44.5%
41	愛知	42.1%
42	神奈川	38.7%
43	東京	34.7%
44	茨城	32.4%
45	埼玉	31.4%
46	千葉	30.1%
47	大阪	29.9%

統計でみる都道府県のすがた2023

自然公園面積割合

1-23

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全国	15.0%
1	滋賀	37.3%
2	東京	36.4%
3	三重	36.1%
4	沖縄	35.7%
5	埼玉	32.8%
6	富山	29.6%
7	大分	27.6%
8	山梨	27.1%
9	新潟	25.2%
10	宮城	23.5%
11	神奈川	22.8%

下位

順位	都道府県	値
	全国	15.0%
38	秋田	10.6%
39	大阪	10.5%
40	徳島	9.3%
41	愛媛	7.2%
42	山口	7.0%
43	高知	6.7%
44	島根	6.0%
45	千葉	5.5%
46	岩手	4.7%
47	広島	4.5%

統計でみる都道府県のすがた2023

年平均気温

1-24

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全国	-
1	沖縄	23.6℃
2	鹿児島	19.3℃
3	福岡	18.2℃
4	宮崎	18.2℃
5	長崎	18.1℃
6	佐賀	17.9℃
7	熊本	17.9℃
8	静岡	17.7℃
9	高知	17.6℃
10	大阪	17.5℃
11	兵庫	17.5℃
12	神奈川	17.0℃

下位

順位	都道府県	値
	全国	-
38	栃木	14.9℃
39	新潟	14.5℃
40	福島	14.0℃
41	宮城	13.7℃
42	秋田	12.9℃
43	長野	12.9℃
44	山形	12.7℃
45	青森	11.5℃
46	岩手	11.4℃
47	北海道	10.2℃

統計でみる都道府県のすがた2023

年間降水量

1-25

2021年
上位

順位	都道府県	値
	全国	-
1	宮崎	3,126.0mm
2	高知	3,121.0mm
3	福井	2,858.0mm
4	鹿児島	2,782.0mm
5	石川	2,690.0mm
6	静岡	2,511.0mm
7	沖縄	2,485.5mm
8	佐賀	2,480.5mm
9	熊本	2,347.5mm
10	広島	2,267.0mm
11	神奈川	2,056.5mm

下位

順位	都道府県	値
	全国	-
37	岩手	1,268.5mm
38	山梨	1,246.0mm
39	福島	1,202.0mm
40	岡山	1,191.5mm
41	宮城	1,183.0mm
42	埼玉	1,177.0mm
43	香川	1,135.5mm
44	北海道	1,089.0mm
45	長野	1,075.0mm
46	山形	1,037.5mm

統計でみる都道府県のすがた2023

注釈

1-20

- 2021年10月1日現在の値。
- 面積は全国都道府県市区町村別面積調[国土交通省国土地理院]による。河川及び湖沼は陸域に含めている。
- 国勢調査令(昭和55年政令第98号)の規定に基づき、調査の対象から除外した次の地域の面積を含む。
 - ・北方地域(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島(属島を含む))
 - ・竹島

1-21~1-23

- 面積は全国都道府県市区町村別面積調[国土交通省国土地理院]による。河川及び湖沼は陸域に含めている。
- 国勢調査令(昭和55年政令第98号)の規定に基づき、調査の対象から除外した次の地域の面積を除いて算出している。
 - ・北方地域(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島(属島を含む))
 - ・竹島

1-24、1-25

- 全国値はデータが無いため、「-」表記としている。

1-25

- 富山はデータが無いため、順位をつけていない。



かながわ Q&A

人口・自然編

Q.1 神奈川の人口はおよそ何人？
(2022年10月1日現在)

- ① 1351万5千人
 - ② 923万2千人
 - ③ 883万9千人
- A.**

Q.2 神奈川の人口1000人当たりの婚姻率は全国第何位？(2022年)

- ① 1位
 - ② 5位
 - ③ 8位
- A.**

Q.3 神奈川から県外へ通勤・通学する人数は全国第何位？
(2020年10月1日現在)

- ① 1位
 - ② 3位
 - ③ 5位
- A.**

Q.4 神奈川県内の在留外国人数は？
(2022年12月末現在)

- ① 18万2189人
 - ② 24万5790人
 - ③ 28万6604人
- A.**

Q.5 神奈川の高齢化率が7%から21%に達するまでにかかった年数は何年？

- ① 29年
 - ② 37年
 - ③ 57年
- A.**

Q.6 神奈川の核家族世帯の割合は？
(2020年10月1日現在)

- ① 77.63%
 - ② 89.41%
 - ③ 91.84%
- A.**

Q.7 神奈川の面積は世界のどの国と同じくらい？(2021年)

- ① ルクセンブルク
 - ② アンドラ
 - ③ サンマリノ
- A.**

Q.8 神奈川の森林面積割合は？
(2019年)

- ① 29.9%
 - ② 38.7%
 - ③ 83.3%
- A.**

答えは78ページ ▶

